

ノーリツ、「エコ・ファーストの約束」を更新

～ 2009年の認定から8年、トップランナー企業として環境保全に取り組みを継続 ～

湯まわり設備メーカーの(株)ノーリツ(本社:神戸市、代表取締役社長:國井総一郎、資本金:201億円、東証一部上場)は、環境省が進める「エコ・ファースト制度」において、環境保全に関する新たな取り組みをまとめた「エコ・ファーストの約束(更新書)」を環境大臣に提出し、2017年10月31日に再認定されました。



今回の更新は2011年に続き2回目となり、当社はあらためて環境大臣に対し、製品および事業活動を通じて、低炭素社会の構築に取り組むことを宣言しました。当社は2009年、ガス・石油機器業界で初めて「エコ・ファースト企業」に認定されています。

今後も業界の環境先進企業として、環境保全に関する取り組みを引き続き推進してまいります。

エコ・ファースト制度について

「エコ・ファースト制度」は、環境省が2008年4月に創設し、業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動をさらに促進するため、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策など、環境保全に関する取り組みを約束する制度です。

■ ノーリツの「エコ・ファーストの約束」

ノーリツが環境大臣に約束した内容(要旨)は以下の通りです。

1. 製品を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
2. 事業活動を通じて低炭素社会の構築に積極的に取り組みます。
3. 製品・事業活動を通じて資源循環型社会の構築に積極的に取り組みます。
4. 製品・事業活動を通じて自然共生社会の構築に積極的に取り組みます。
5. 環境マインドの向上に積極的に取り組みます。

《参考》「eco 検定」取得の推奨活動

当社では、社員の環境意識を高める活動として、2009年より「eco 検定」(環境社会検定試験:東京商工会議所主催)の取得を社員に推奨しています。2017年10月時点では、全社員(単体)の約55%が取得しており、2020年までに全社員(単体)の60%の取得およびグループへの拡大を目指します。